

1 策定趣旨

○国は、日本における急速な少子高齢化の進行に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、まち・ひと・しごと創生法を制定した。

⇒人口減少に歯止めをかけ、2060年に1億人程度の人口を確保

○調布市においても、年少人口（0～14歳）は、平成33年をピークに減少に転じ、総人口についても、平成36年をピークに減少に転じることが見込まれるなど、やがて人口減少・少子化・超高齢社会が到来する見通しとなっている。

○こうした状況下において、将来にわたって活力ある豊かな地域社会を維持するため、まち・ひと・しごと創生法に基づき、国及び都が策定するまち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえ、（仮称）調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定する。

2 策定内容

(1) （仮称）調布市人口ビジョン

○対象期間：平成27（2015）年から平成72（2060）年までを基本

○市における人口の現状を分析し、人口問題に関する基本認識を共有するとともに、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示す長期的な人口ビジョンとして策定する。

【構成案】○人口の動向分析、将来人口推計と分析
○人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察
○人口の将来展望（結婚・出産・子育てに関する意識希望の分析など）

(2) （仮称）調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略

○計画期間：平成27（2015）年度から平成31（2019）年度までの5か年

○策定する長期的な人口ビジョンを踏まえ、人口、経済、地域社会の課題に一体的に取り組むため、市の実情に応じた今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示す計画として策定する。

【構成案】○国の総合戦略の4つの政策分野を勘案し、
①基本目標、②構すべき施策に関する基本的方向、③具体的な施策、
④重要業績評価指標（KPI）などを位置付け

3 策定の考え方

(1) 調布市基本計画（平成27年度～平成30年度）との整合

○平成26年度に修正した基本計画と整合させ、基本計画に位置付けた重点プロジェクトを基軸として実効性あるものとして策定する。

○総合戦略に位置付ける各施策の効果を客観的に検証できる数値目標（KPI）の設定についても、基本計画のまちづくり指標との整合を図る。

(2) 国及び都の総合戦略との整合

○国及び都の総合戦略を踏まえ、国や都が示す諸課題への対応に留意しながら、中長期的な視点で策定する。

(3) 政策5原則に基づいた施策を展開

○国が示している政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づきつつ、施策を展開していく。

4 策定の視点

（仮称）調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に当たっては、人口ビジョン及び次の3つの視点を踏まえ、基本目標、講ずべき施策に関する基本的方向、具体的な施策、客観的指標等を検討し、総合戦略としてまとめる。

視点1

調布のまちの魅力を発信により、交流人口の増加を図るとともに、定住化を促進し、まちを発展

【調布市基本計画における基本目標4・6・7・8に対応】

調布のまちの魅力を高め、その魅力を市内外に積極的に発信することにより、交流人口を多く獲得するとともに、定住化を促進し、まちの発展につなげる。

視点2

安定した人口構造を保持するためのまちづくりの推進

【調布市基本計画における基本目標2に対応】

総人口を維持しつつ、安定した人口構成により、市民がいきいきと働き、若い世代が安心して結婚・出産・子育てできる地域を実現する。

視点3

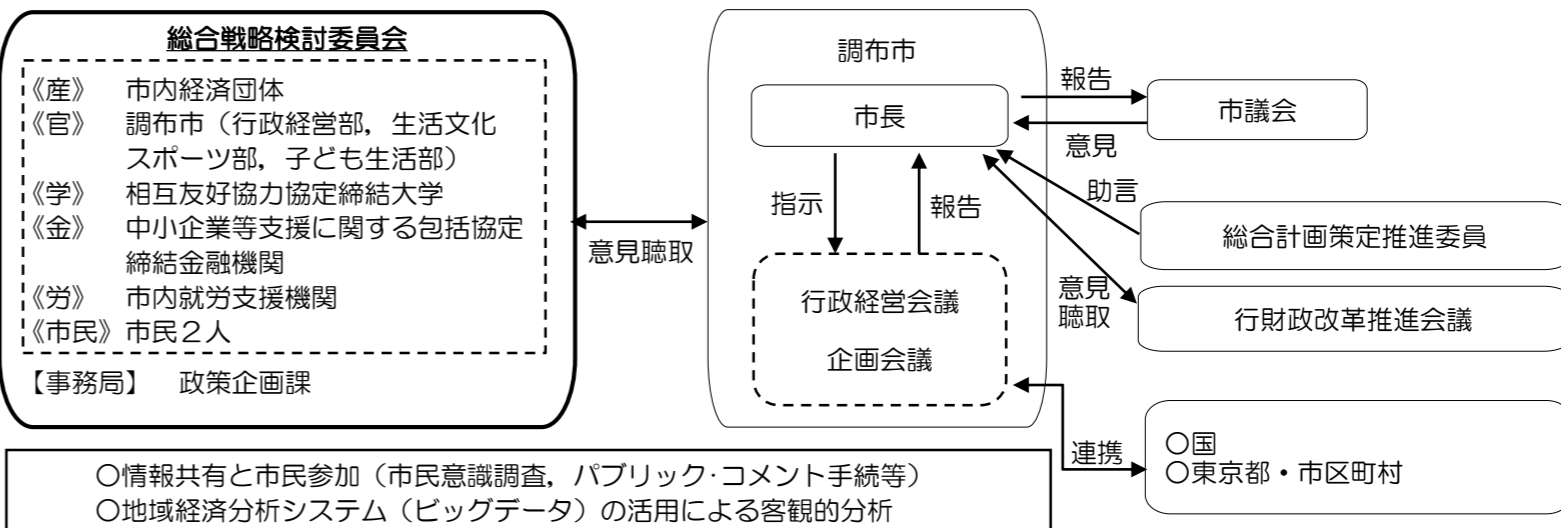
市民生活支援を基調とした安全・安心な暮らしの確保

【調布市基本計画における基本目標1・3・5に対応】

高齢化・単身化による医療・介護ニーズの拡大への対応、住民主体の地域防災の充実などにより、安全で安心な暮らしを確保する。

5 検討体制

市民をはじめ、産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体（産官学金労）等で構成する推進組織により審議・検討



4 【第2編】（仮称）調布市人口ビジョンの考え方

〈参考〉 国の長期ビジョン

※まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」「総合戦略」(内閣官房資料)に基づき作成

現状認識

- ・2060年の総人口は8,674万人まで減少
- ・2100年の総人口は5,000万人をきり、その後も減少し続け安定しない

合計特殊出生率の設定

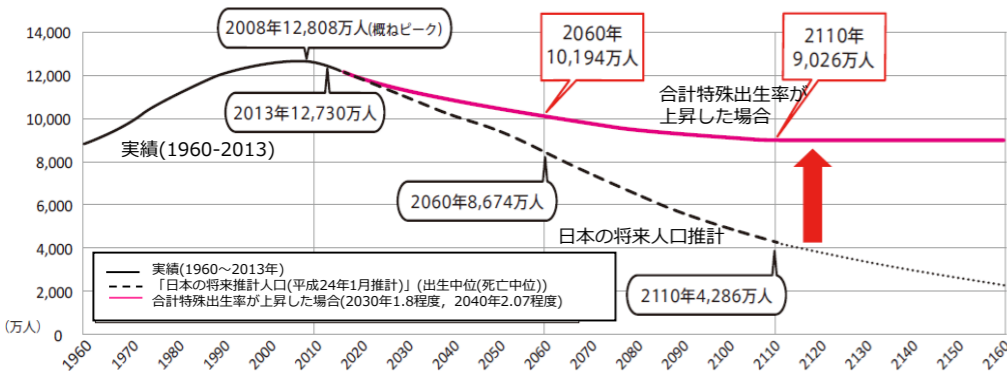
- 2030年 1.80 ※国民希望出生率
- 2040年 2.07 ※人口置換水準
夫婦が予定する平均子ども数(2010年調査)

将来展望：

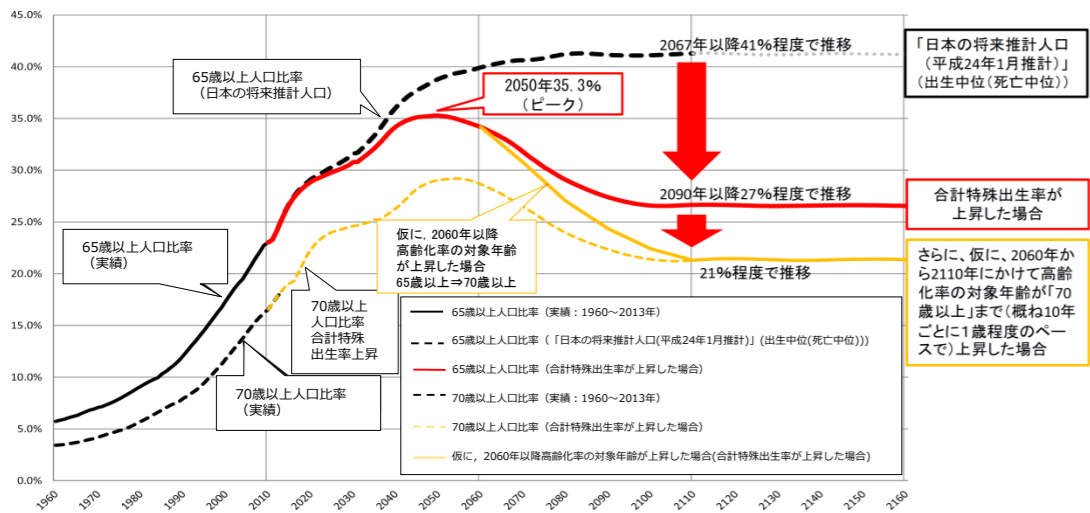
2060年に1億人程度の人口を確保

- ・2090年頃には、総人口9,000万人程度で定常状態を維持

〈人口の推移と長期的な見通し〉

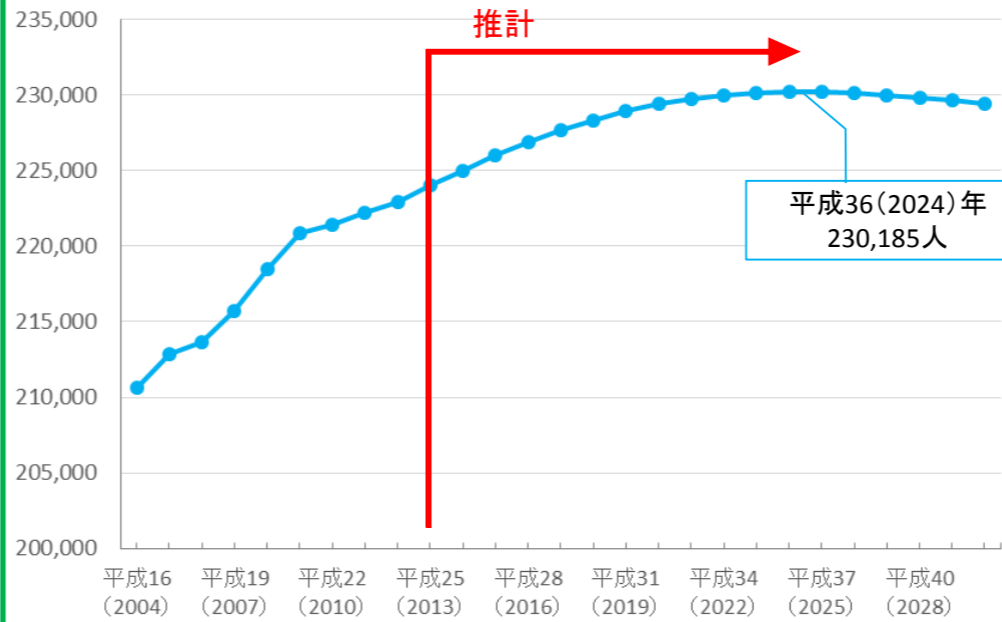


〈高齢化率の推移と長期的な見通し〉



調布市の将来人口推計

〈総人口の推計結果〉



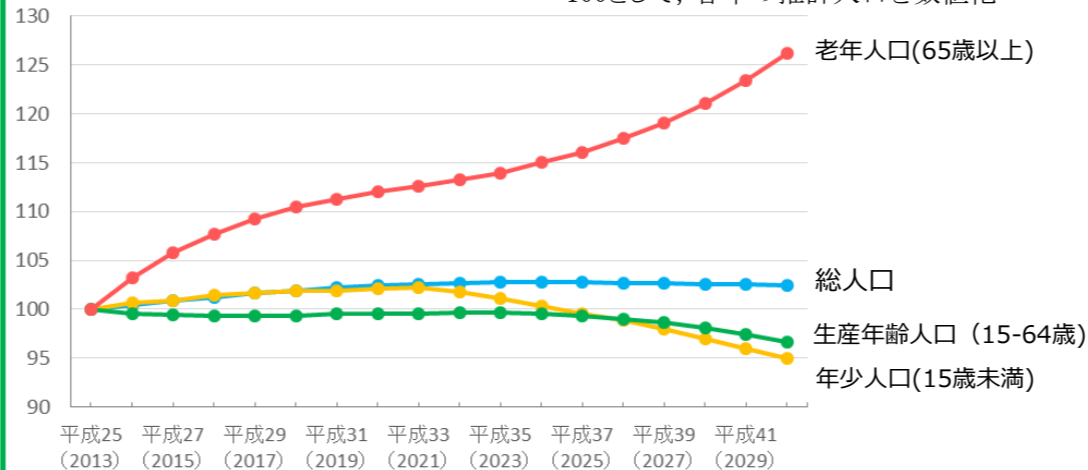
人口推計の概要

- ・調布市基本計画の時点修正及び市政経営の基礎資料とするため、平成26年3月に実施
- ・本推計は、平成25(2013)年10月1日現在を基準年とし、平成42(2030)年まで1年毎に推計

○ 調布市の将来人口は今後もゆるやかに増加を続けることが予想されるが、徐々に増加幅は縮小し、平成36(2024)年の230,185人をピークに減少に転じる

〈年齢3区分別人口の推移〉

平成25(2013)年の各年齢3区分別人口を100として、各年の推計人口を数値化



| | 平成25(2013)年 | 平成32(2020)年 | 平成42(2030)年 |
|----------------|-------------|-------------|-------------|
| 年少人口(15歳未満) | 28,244人 | 28,825人 | 26,830人 |
| 総人口に占める割合 | 12.61% | 12.57% | 11.70% |
| 生産年齢人口(15-64歳) | 150,479人 | 149,818人 | 145,396人 |
| 総人口に占める割合 | 67.17% | 65.31% | 63.38% |
| 老年人口(65歳-) | 45,303人 | 50,745人 | 57,177人 |
| 総人口に占める割合 | 20.22% | 22.12% | 24.92% |
| 総人口 | 224,026人 | 229,388人 | 229,403人 |

地域特性の把握

- 人口の動向分析
- 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察
- 結婚・出産・子育てに関する意識や希望の把握
 - ① 国・都から提供されるデータの活用
 - ・地域ブロック別及び大規模都道府県における結婚の意向、希望・予定・理想子ども数等(社人研「第14回出生動向基本調査」に係る研究)
 - ・都道府県別 結婚・出生等に関する意識 …など
 - ② 調布市調査
 - 平成27年度調布市民意識調査 (平成27年8月5日～8月25日)
 - 調布市結婚・出産・子育てに関する市民意向調査 (平成27年8月5日～8月31日)

調布市人口ビジョン

将来展望： ……………

【対象期間】2015(平成27)年～2060(平成72)年を基本

※ 現状の趨勢を引き伸ばした人口推計結果に、出生率の向上や社会移動の増加など、政策的な仮定を加えた場合の将来人口シミュレーションの結果を指す

将来展望を描くに当たっての論点

1. 将来人口推計における仮定値の設定について

- ① 合計特殊出生率の仮定値を設定
- ② 社会移動について仮定値を設定
- ③ 超長期的に人口が定常状態を迎えるよう設定

2. 合計特殊出生率の設定方法について

- ① 国の仮定値を使用(国と調布市の比率で換算)
- ② 市民の結婚・出産に関する希望等の把握・分析し設定

結婚・出産・子育てに関する意向

◆調布市結婚・出産・子育てに関する市民意向調査(モニター調査速報値)

○希望する子どもの数

| 選択肢 | 既婚者 | | 《参考》独身者 | |
|------------------------|------------------|--------|---------|--------|
| | 回答数 | 構成比 | 回答数 | 構成比 |
| 子どもは希望していない | 13 | 9.1% | 44 | 33.1% |
| 1人 | 23 | 16.1% | 25 | 18.8% |
| 2人 | 71 | 49.7% | 52 | 39.1% |
| 3人 | 34 | 23.8% | 10 | 7.5% |
| 4人以上 | 2 | 1.4% | 2 | 1.5% |
| 母数 | 143 | 100.0% | 133 | 100.0% |
| 希望する子供の数 (回答者1人当たり) | 1.94 | | 1.27 | |
| | ※1.62(既婚者・独身者平均) | | | |

※現時点の値は速報値であるため、最終的な確報値と一致はしません。

【参考】予定している子どもの数

| 選択肢 | 既婚者 | |
|--------------------------|------|--------|
| | 回答数 | 構成比 |
| 子どもは予定していない | 17 | 11.9% |
| 1人 | 40 | 28.0% |
| 2人 | 68 | 47.6% |
| 3人 | 17 | 11.9% |
| 4人以上 | 1 | 0.7% |
| 母数 | 143 | 100.0% |
| 予定している子供の数 (回答者1人当たり) | 1.62 | |

＜分析例＞
既婚者が希望する子どもの数は1.94人
独身者が希望する子どもの数は1.27人
(平均1.62人)
⇒希望する子供の数を産み育てられることを目指し、施策を展開

調布市人口ビジョン(案)

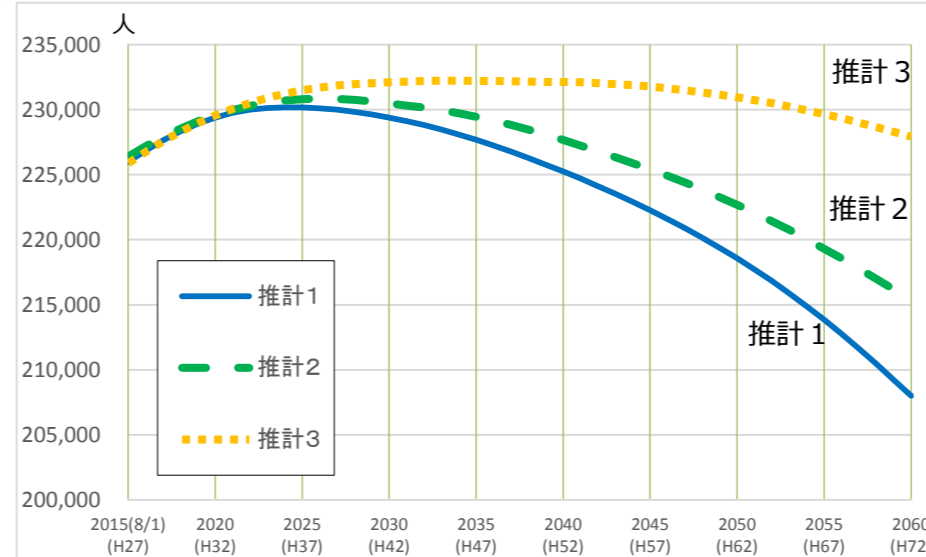
※今後、調布市結婚・出産・子育てに関する市民意向調査や平成27年度調布市民意識調査の結果等を踏まえ、調整していきます。

| 将来人口シミュレーションの推計例 | 合計特殊出生率の考え方 | 合計特殊出生率※(TFR) | 社会移動率 |
|--|---|---------------|--|
| 推計1: 調布市将来人口推計(平成26年3月)を前提にした将来人口シミュレーション | 国立社会保障・人口問題研究所(H24.1推計)の高位推計仮定値(1.59)を、平成15年から平成24年の合計特殊出生率の国の平均(1.34)と調布市の平均(1.12)の比率(0.83)で補正したもの | 1.32 | 直近5年間の転出入の比率を勘案し、徐々に定常状態を迎えるよう設定 |
| 推計2: 将来人口シミュレーション | 希望する子どもの数をかなえた場合の推計(調査結果(既婚者回答と独身者回答の平均である1.62)をそのまま使用) | 1.62 | 総合戦略の展開により、基本計画策定時の人口推計時よりも、転入増・転出減となるよう補正するとともに、徐々に定常状態を迎えるよう設定 |
| 推計3: 国の長期ビジョンの考えに準拠した将来人口シミュレーション | 国の長期ビジョンに示されている合計特殊出生率の人口置換水準(2.07)を、国と調布市の比率(0.83)で補正したもの | 1.72 | |

※合計特殊出生率…15~49歳の女性の各年齢ごとの出生率を足し合わせ、一人の女性が生涯、何人の子どもを産むのかを推計したものの、現在公表されている調布市の合計特殊出生率*(平成25年)は1.27(国は1.43(平成25年))

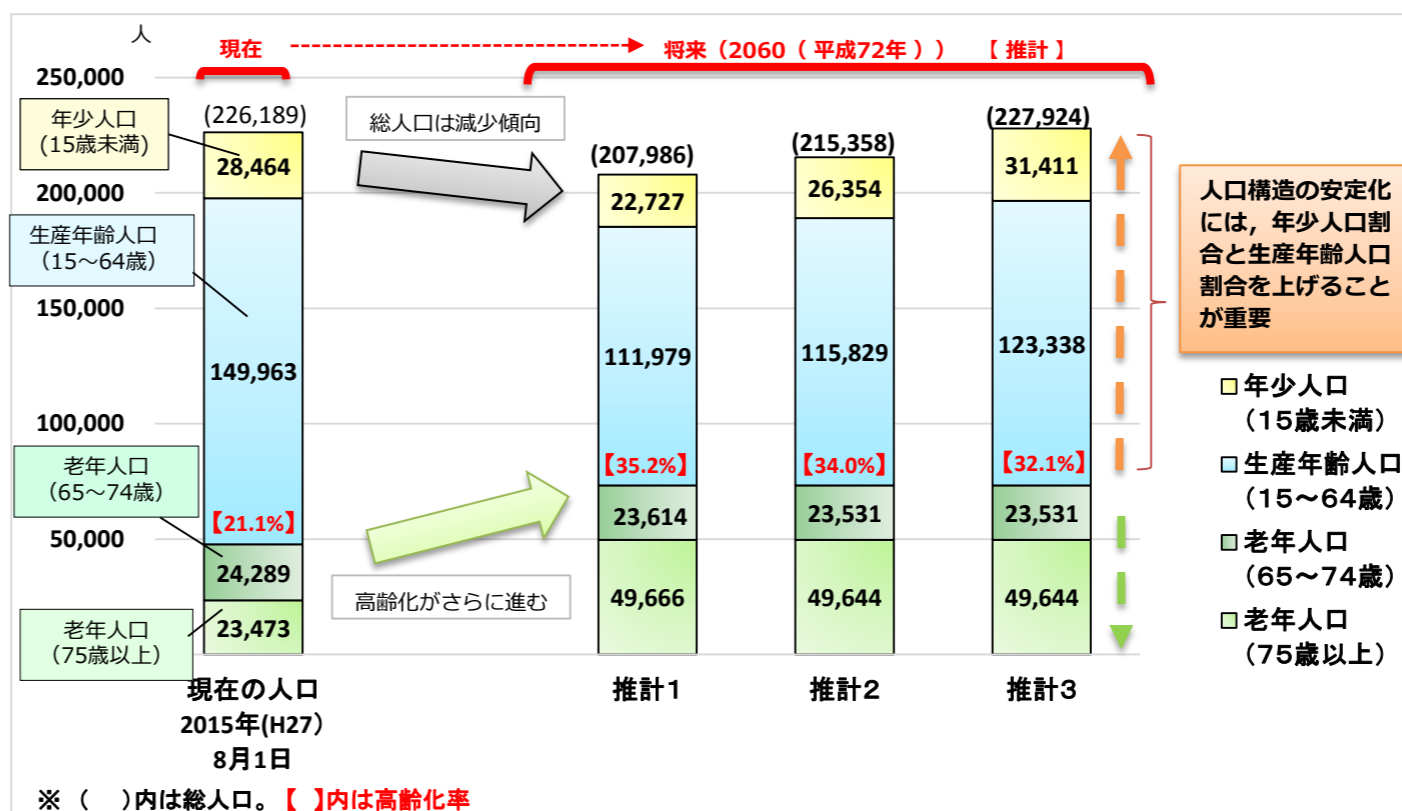
*平成25年人口動態統計(厚生労働省)

◆各推計による調布市の総人口の推移



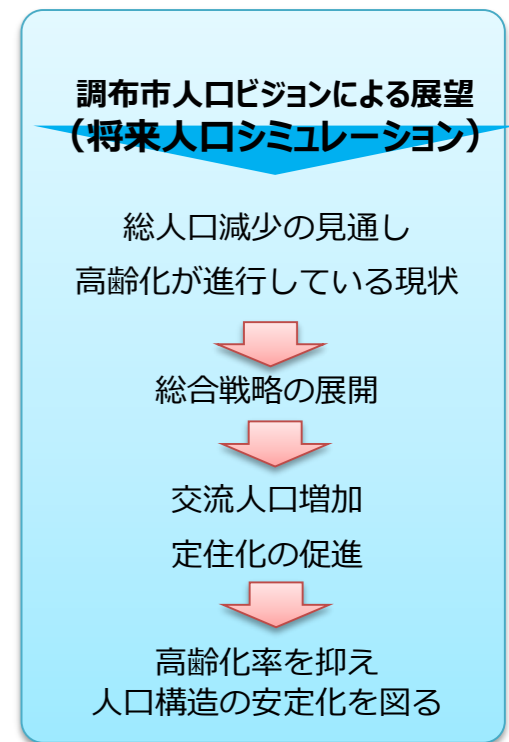
| 各将来人口シミュレーションにおける人口のピーク | 人口のピーク(ピーク年) | 2060年(H72)の人口 |
|--|---------------|---------------|
| 推計1: 調布市将来人口推計(平成26年3月)を前提にした将来人口シミュレーション | 230,185人(H36) | 207,986人 |
| 推計2: 将来人口シミュレーション | 230,851人(H38) | 215,358人 |
| 推計3: 国の長期ビジョンの考えに準拠した将来人口シミュレーション | 232,234人(H46) | 227,924人 |

◆各推計における年齢4区分別人口(2060年(平成72年))



人口構造の安定化には、年少人口割合と生産年齢人口割合を上げることが重要

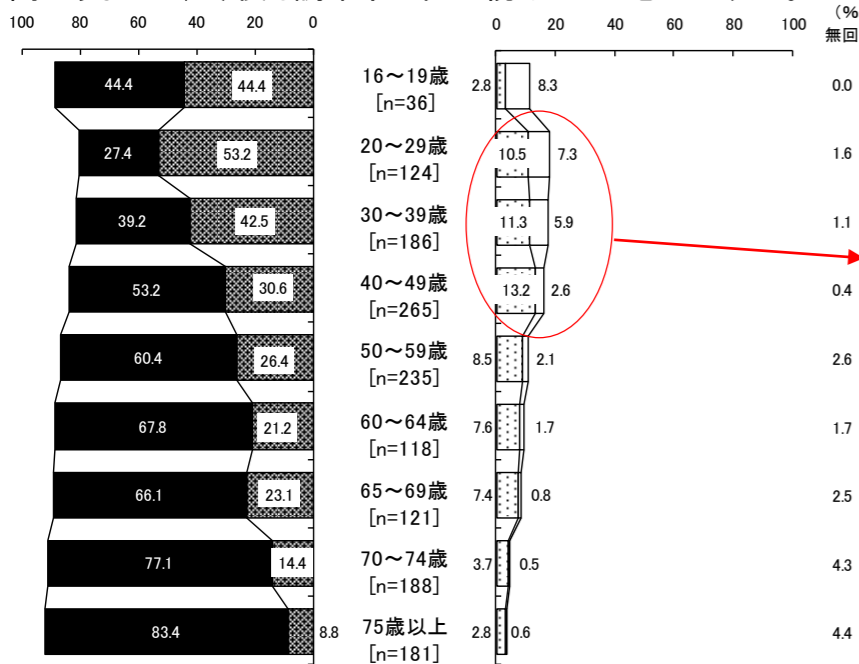
- 年少人口(15歳未満)
- 生産年齢人口(15~64歳)
- 老年人口(65~74歳)
- 老年人口(75歳以上)



定住意向・転出意向

◆平成26年度調布市民意識調査結果

問 あなたは、今後も調布市に住み続けたいと思いますか。



＜分析例＞
20~40代の世代の転出意向が比較的高い
⇒子育て世代の定住化を促進するよう施策を展開

※上記の値は昨年の調査結果をもとにしているため、今後整理をする平成27年度市民意識調査結果の値とは一致はしません。

〈参考〉
国の長期ビジョン
“2060年に1億人
程度の人口を確保”

〈参考〉
国の総合戦略

基本目標①
地方における安定
した雇用を創出する

基本目標②
地方への新しいひと
の流れをつくる

基本目標③
若い世代の結婚・
出産・子育ての希望
をかなえる

基本目標④
時代に合った地域を
つくり、安全な暮らしを
守るとともに、地域と
地域を連携する

医療・介護
防災
ふるさとづくり

調布市人口ビジョンの将来展望

調布市総合戦略（イメージ）

基本目標

6 【第3編】（仮称）調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系

調布市基本計画（平成27～30年度）

具体的な施策

**各施策における
KPI**

**調布市総合戦略
の検討ポイント**

策定の視点1
調布のまちの魅力の発信により、
交流人口の増加を図るとともに、
定住化を促進し、まちを発展

調布のまちの魅力を高め、その
魅力を市内外に積極的に発信
することにより、交流人口を多く
獲得するとともに、定住化を促進
し、まちの発展につなげる。

**基本目標における数値目標
（アウトカム指標）**

例) ●住みやすいと感じている市民の割合
95.0% (2018年度)
●中心市街地が魅力的であると感じている
市民の割合 70.0% (2018年度)
●市内に優れた景観があると感じている
市民の割合 85.0% (2018年度)

策定の視点2
安定した人口構造を保持するた
めのまちづくりの推進

総人口を維持しつつ、安定した
人口構成により、市民がいきいき
と働き、若い世代が安心して結婚
・出産・子育てできる地域を実現
する。

例) ●子育てしやすいまちと感じている
市民の割合 50.0% (2018年度)

策定の視点3
市民生活支援を基調とした
安全・安心な暮らしの確保

高齢化・単身化による医療・介護
ニーズの拡大への対応、住民主
体の地域防災の充実などにより、
安全で安心な暮らしを確保する。

例) ●治安の面で自分の住んでいる地域が安
心して暮らせると感じている市民の割合
80.0% (2018年度)

“施策”

重点プロジェクト③
利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト

都市構造の変貌を機に、利便性と快適性を兼ね備えた
にぎわいと交流のある豊かなまち

21世紀の調布のまちの骨格をつくる

施策22 地域特性を生かした都市空間
の形成
施策24 安全で快適なみちづくり
施策25 総合的な交通環境の整備

まちの活力を高める

施策14 市民スポーツの振興
施策16 活力ある産業の推進
施策17 魅力ある観光の振興

施策19 芸術・文化の振興
施策20 地域ゆかりの文
化の保存と継承

重点プロジェクト④
うるおいのあるまちをつくるプロジェクト

地域資源を生かした環境面等でうるおいを醸し出すまち

豊かな水と緑を大切に守り生かす

施策27 水と緑による快適空間づくり
良好な景観を創出する

施策21 良好な市街地の形成
施策22 地域特性を生かした都市空間
の形成

施策18 都市農業の推進
施策26 地球環境の保全
施策28 ごみの減量と適正
処理
施策29 生活環境の保全

重点プロジェクト②
安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト

福祉や子育て、教育などの面で、だれもが安心して住み
続けられるまち

子どもたちの健やかな成長を支える

施策04 子ども・子育て家庭の支援
施策05 学校教育の充実
施策06 青少年の健全育成

施策10 セーフティーネット
による生活支援
施策11 雇用・就労の支援
施策30 平和・人権施策の
推進
施策31 男女共同参画社
会の形成

重点プロジェクト①
強いまちをつくるプロジェクト

これまでの防災対策の取組に加え、震災の対応や教訓を踏ま
えた災害に強いまち

地域の防災力を高める

施策01 災害に強いまちづくり
施策05 学校教育の充実

強い都市基盤をつくる

施策01 災害に強いまちづくり
施策23 良好な住環境づくり

施策12 生涯を通じた健康
づくり
施策13 生涯学習のまち
づくり
施策15 地域コミュニティ
の醸成

施策02 防災対策の推進
施策03 消費生活の安定
と向上

“基本的取組”

21世紀の調布のまちの骨格をつくる

22-1 魅力的な中心市街地の形成
22-2 駅周辺におけるまちづくり
24-1 円滑に移動できる道路網の整備
25-3 自転車関連施策の推進

まちの活力を高める

16-1 にぎわいを創出する商店街等の支援
16-2 パイ調布運動(市内消費)の促進
16-3 市内事業所・事業者への支援
16-4 新たな創業への支援
17-1 「映画のまち調布」の推進
17-2 地域資源を活用したにぎわいの創出

豊かな水と緑を大切に守り生かす

27-1 水と緑の保全
27-2 水と緑の創出
27-3 深大寺・佐須地域環境資源保全・活用の推進

良好な景観を創出する

21-2 景観まちづくりの推進
22-3 深大寺地区におけるまちづくりの推進

子どもたちの健やかな成長を支える

04-1 子育てが楽しくなるまちづくり
04-2 子育て家庭の支援
04-4 保育サービスの充実

05-1 豊かな心の育成
05-2 確かな学力の育成
05-3 健やかな体の育成
05-4 個性の伸長と協働の学校づくり
05-6 学校施設の整備
06-1 青少年の健全な成長の支援

だれもがいきいきと働けるまちをつくる

11-1 雇用・就労に向けた支援
31-2 ワーク・ライフ・バランスの実現

高齢者や障害者の暮らしを支える

07-1 地域が一体となった福祉のまちづくりの推進
08-1 在宅生活の支援
08-2 社会参加の促進及び健康づくりの推進
08-3 介護保険事業の円滑な運営
09-2 自立に向けた就労支援・社会参加支援

地域の防災力を高める

01-1 防災体制の充実
01-3 消防力の強化

05-5 安全・安心な学校づくりの推進

強い都市基盤をつくる

01-2 災害に強い都市基盤の整備
23-1 安全・安心な住環境づくり

“まちづくり指標”

例) ●自転車駐車場の有料化整備率
85.7% (2018年度)
●運動を週1回以上行っている市民
の割合 70.0% (2018年度)
●市内商業者の年間 販売額
2,100億円 (2017年度)
●納税法人数 5,800法人 (2018年度)
●ロケ支援件数 135件 (2018年度)
●市民一人当たり公園面積
5.66㎡以上 (2018年度)

《事業例》

■深大寺周辺における観光客
誘致事業(観光客数67万人)
■調布の魅力発信拠点「ぬくもり
ステーション」での観光PR事業
(PR100万人)
■駅前広場の整備
■「映画のまち調布」の推進

例) ●保育施設整備率 53.6%
(2018年4月1日時点)

《事業例》

■認証保育所等保育料助成事業
(利用者の低・中所得者世帯100%
に助成)
■子ども若者総合支援事業
(施設利用者数300人)
■保育士人材確保研修等事業
(募集人員の半数採用)
■待機児童対策の推進

例) ●地域活動に参加している高齢者の
割合 50.0% (2018年度)
●防災教育の日の参加者数
30,000人 (2018年度)
●市内の住宅の耐震化率
93.0% (2018年度)

《事業例》

■福祉人材育成事業(事業利用
者数500人)
■防災市民組織等育成支援事業
(120団体)
■地域密着型サービスの整備
■調布市災害時要援護者避難
支援プランの推進

○2020年オリンピック・パラリン
ピック(バドミントン・ラグビー・
サッカー)を契機としたまちづ
くり
★スポーツ分野をはじめとす
る様々な取組を関係団体・
近隣市と連携して展開
○京王線地下化に連動する21
世紀の調布の街の骨格づくり
と賑わい創出
★調布駅周辺の複合商業施
設の民間開発
★シネマコンプレックス開業
を契機とした「映画のまち調
布」の取組の展開
○産学官連携の推進
★電気通信大学アライアンス
センター(先端共同研究施設
)の開設
★商工会と連携し、金融機関
などの民間ノウハウを活用
した中小企業等支援を展開

○地域で安心して結婚・出産・
子育てできる環境づくり
○女性・若者の就労支援
★マザーズコーナーや若者
サポートステーションと連携
した就労支援
○ワーク・ライフ・バランスの
実現
★市内企業の取組の促進
○空き家の利活用の促進

○人口減少、少子高齢社会を
見据えたまちづくり
★地域包括ケアシステムの構
築
★地域による見守りの推進
★福祉人材の育成
★地域の防災体制の充実
★公共施設の総合的な管理
の推進
★地域連携の推進の検討
○ICTを活用した安心・安全な
まちづくり
★オープンデータの取組
★マッピングパーティの展開